

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	同種造血細胞移植における鉄および炎症性関連マーカーの解析 多施設共同前向き臨床観察研究
	研究目的	同種造血細胞移植における予後予測因子として、移植前血清フェリチンが 確立されつつある。鉄過剰症に影響を受けると考えられていたが、炎症性 マーカーや肝機能障害からも影響を受けると考えられるようになった。同 種移植患者を対象として、移植前検査として、血清フェリチンを中心とし た各種鉄関連マーカー、炎症性マーカーを測定する。これらの相関関係を 解析するとともに、各種マーカーの移植後成績に及ぼす予後的意義を多施 設共同前向き試験により評価することを目的とする。  また、付随研究として、同種移植後患者における鉄および炎症性関連マ ーカーの臨床的意義を解析する。同種移植後においても同様のマーカーを測 定し、各種マーカーの推移および関連性を評価することを目的とする。
	研究期間	2014年6月13日から2016年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を 利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	金森平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	横浜市立大学附属病院(宮崎拓也) 横浜市大センター病院(藤澤 信)